水上村·多良木町·湯前町

球磨地域振興局復興への取組み

令和3年(2021年)9月16日

熊本県県南広域本部球磨地域振興局

水上村・多良木町・湯前町における道路、河川等の復旧・復興の状況

熊本県球磨地域振興局土木部

1 堆積土砂の撤去

○県管理河川に堆積した土砂のうち、緊急に撤去が必要な土砂(水上村約1.1万m3、 多良木町2.8万m3、湯前町約0.3万m3)を5月末までに撤去し、今後も堆積状況を 踏まえ、維持掘削を実施。









事業名等	スケジュール						
● 尹未有守 	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
堆積土砂撤去	撤去完	維持管	L 理上、必要な土 L	┃ ∴砂撤去の継続的	内な実施		

2 土石流への緊急対策

〇斜面崩壊等による土石流に対応するため、砂防指定地 中猪(湯前町中猪)に 砂防えん堤を計画。用地取得後、工事に着手。





事業名等	スケジュール					
尹未石守	R2年度	R3年度	R4年度			
土砂災害緊急対策事業(中猪)		用地	C事			

3 道路・河川等の災害復旧

※スケジュールは、現時点の予定であり、変更になる場合があります。

- ○県が管理する道路や河川等の災害復旧
- ・水上村 被災箇所25箇所(約8億円)、8月末時点で9箇所(約3億円)の工事に着手。
- ・多良木町 被災箇所90箇所(約19億円)、8月末時点で31箇所(約5億円)の工事に着手。
- ・湯前町 被災箇所11箇所(約1.9億円)、8月末時点で9箇所(約1.2億円)の工事に着手。
- ○県道中河間多良木線(多良木町槻木地内)は令和3年4月に全面通行止を解消。
- ○本格的な工事着手までに時間を要する箇所のうち、出水により家屋等への影響が 懸念される箇所等については、応急対策を実施。





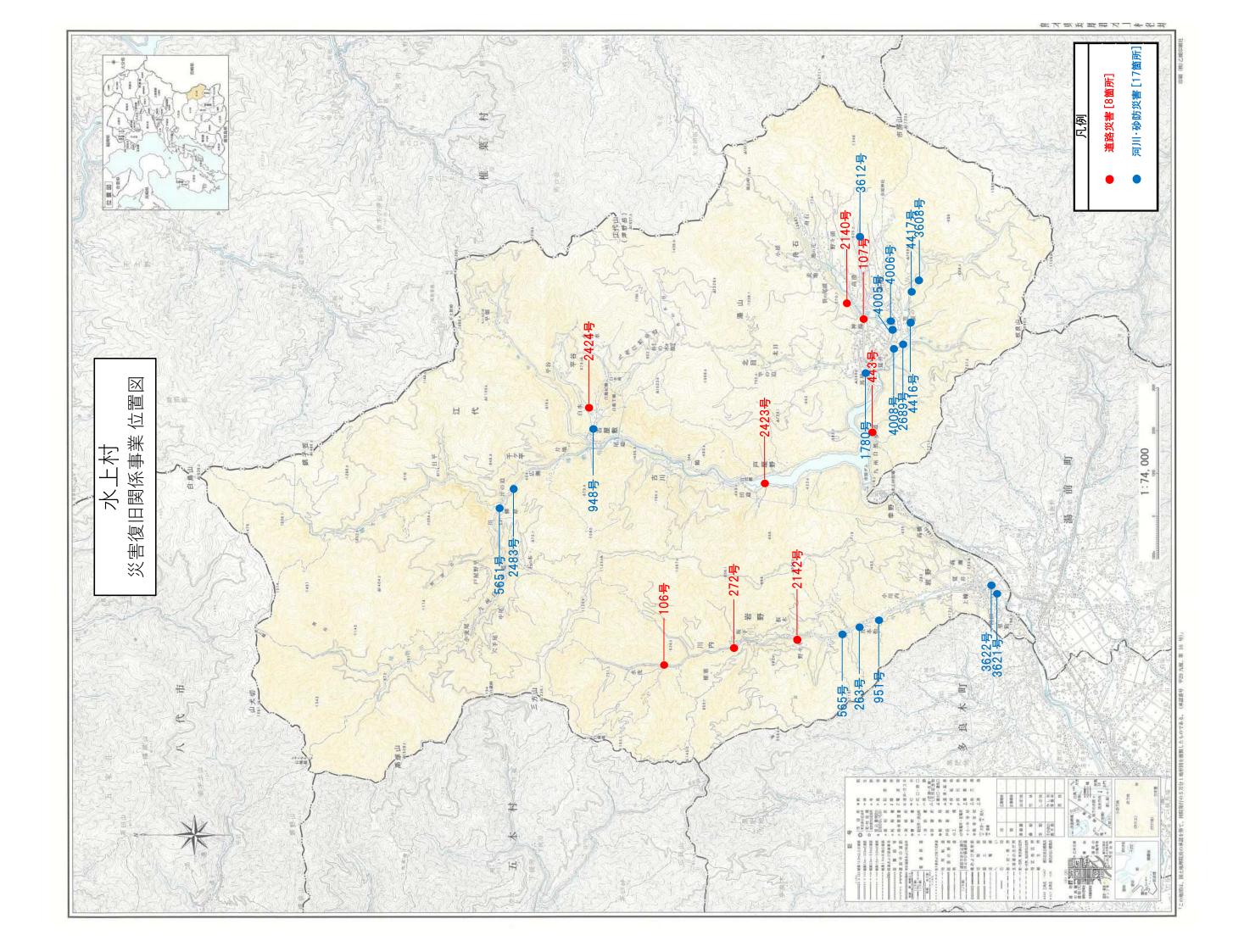




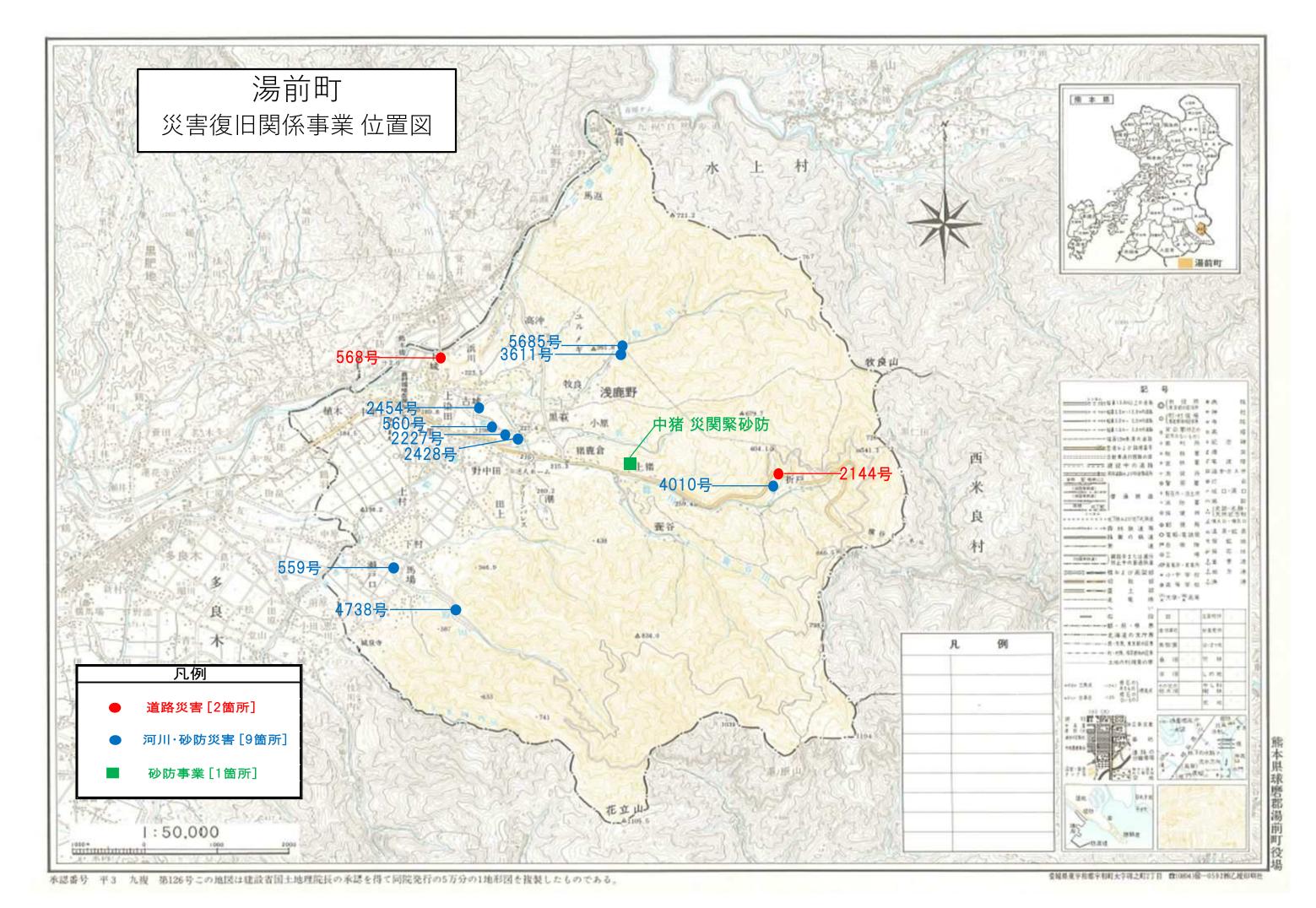




事業名等	スケジュール							
争未有守	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度				
災害復旧事業	応急工事 復旧工事							







1 治山による山の再生・強化等

○被災した治山施設、林地等の復旧対策(県施行)

治山施設は、本年度中に2箇所に着手し、全ての箇所の完成は、R6年度中を予定。林地等は、R3年7月までに71ヵ所中10ヵ所に着手。なお、本年度末までに更に12箇所を着手予定。

R4年度以降は、計画的に復旧対策に着手し、全ての箇所の完成はR8年度中を予定。

文 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												
区分		なち 古亡米ケ		スケジュール								
上 刀	固川致		箇所数			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
被災した 治山施設の復旧 8	7	水上村										
	8	0	多良木町									
		1	湯前町									
		24	水上村	[6か所着号								
被災した 7 林地等の復旧 7	71 29	29	多良木町	[1か所着	. ≨]							
		18	湯前町	[3 か所着	≨]							

【湯前町潮山 B地区】

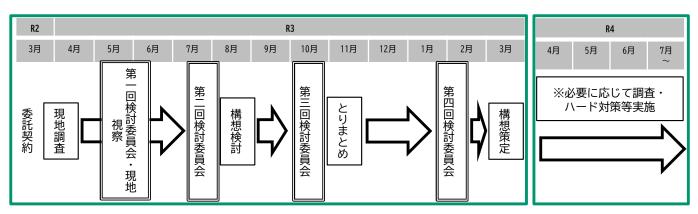






- ○幸野溝等への土砂流出抑止対策(県施行)
- ・幸野溝、新幸野溝において、山側からの土砂の流入により農地や宅地等の被害が発生。清願寺ダムにおいても大量の土砂等がダム湖に流入。
- ・新たに設置した検討委員会の助言を踏まえ、効果的な土砂対策や森林 施業手法等を、「農」「林」一体的に取り組む。

【検討委員会のスケジュール】



2 生産基盤の復旧状況

〇営農用機械・施設、農地・農業用施設、林道施設(町村施行) 被災した農業用機械、農地・農業用機械、林道施設の復旧に向けて、 町及び村が国・県等関係機関と連携し計画的に実施中。

※県は、計画変更や設計協議等の技術的支援を引続き実施

区分		箇所数・	スケジュール						
	<u>Б</u>	経営体	R2年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	営農用機械・施設	0							
水上村	農地•農業用施設	34	【2件完了】						
	林道施設	35	【10箇所着手】						
	営農用機械・施設	11	【11経営体 完了】						
多良木町	農地・農業用施設	56	【21件完了】						
	林道施設	28	【3箇所着手】						
	営農用機械・施設	3	【3経営体 完了】						
湯前町	農地·農業用施設	23	【11件完了】						
	林道施設	12							

R3年7月末

【多良木町古多良木地区】





3 田んぼダムの推進

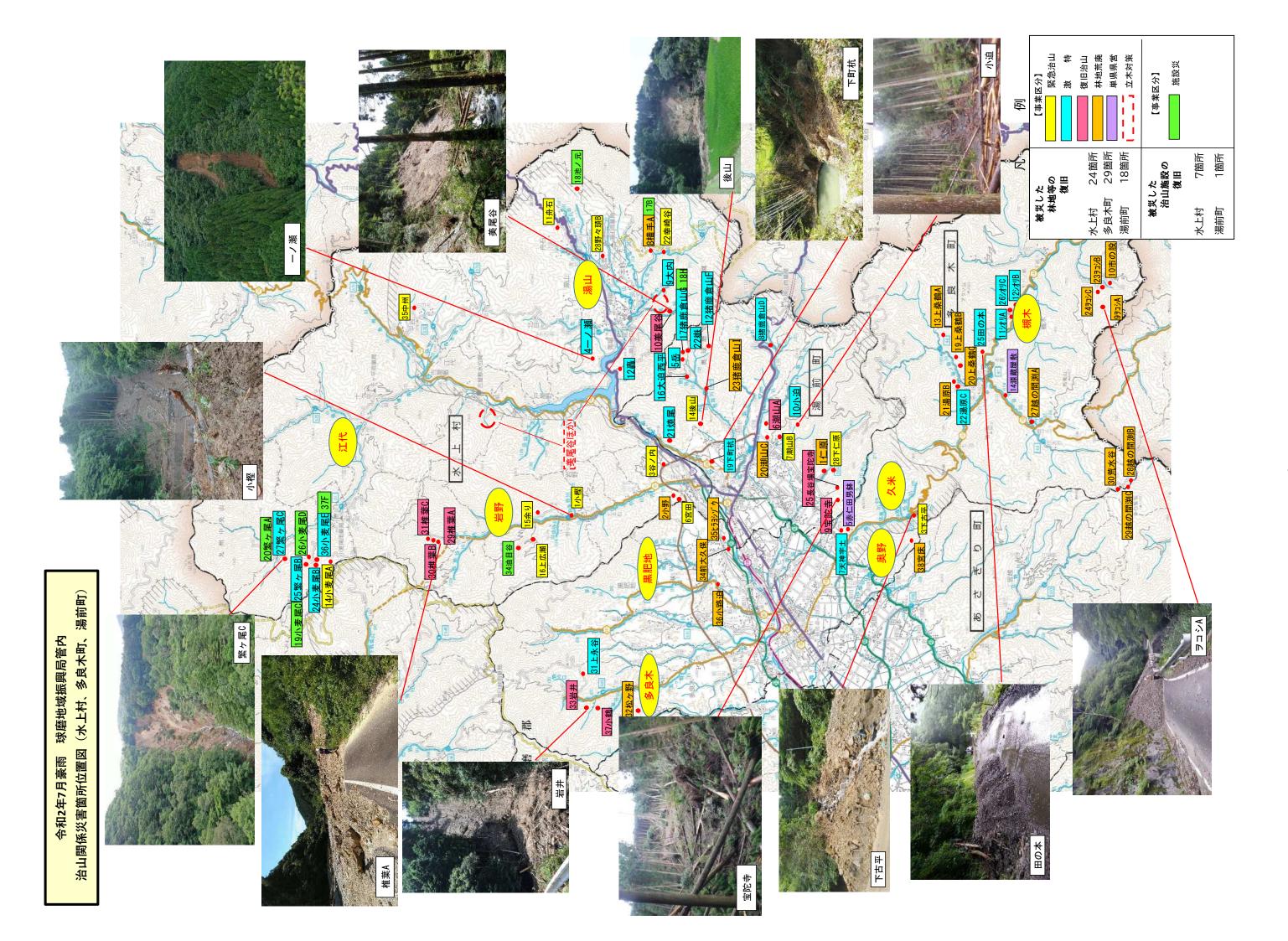
モデル地区115.3ha(水上村30ha、多良木町39.5ha、湯前町45.8ha)を設置し、実証・実験に取組み中。うち、湯前町の10.0haでは、自動給排水栓を用いたスマート田んぼダムを実施中。

今後、町村や土地改良区など関係機関と連携し取組面積を拡大予定。









1 流木の撤去

令和2年7月豪雨では、市房ダム湖内に流れ込んだ流木を捕捉し、下流域の施設等被害を軽減・防止したものと推定される。

ダム湖内の流木は、令和3年5月末までに撤去を完了した。







事業名等	スケジュール				
争耒行守	R2年度	R3年度			
災害復旧事業					

5月末

撤去した流木は、薪材として適当な大きさに加工し(写真左)、地域の方に提供した(写真右)。





2 堆積土砂の撤去

令和2年7月豪雨では、市房ダムにおいて大量の土砂を捕捉し、下流域の浸水被害を 軽減・防止したものと推定される。

洪水調節に使用する容量内に堆積した土砂は、令和5年度の撤去完了を目標に災害 復旧事業にて実施中。



事業名等	スケジュール						
事未有守 	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度			
災害復旧事業		復旧工事					

スケジュールは、現場点の予定であり、変更になる場合があります。